

平成17年度病害虫発生予察注意報第4号

平成17年9月6日
鳥取県病害虫防除所

注意報の概要

‘二十世紀’などでシンクイムシ類の被害が多くなっています。今後、収穫期を迎える晩生品種（新高、新興、王秋***など）でも被害の発生が懸念されますので、シンクイムシ類の防除を徹底して下さい。

病害虫名：シンクイムシ類（ナシヒメシンクイ）

- 1 対象作物 ナシ
- 2 発生地域 県下全域
- 3 発生時期 平年並
- 4 発生量 多い

5 注意報発令の根拠

- (1) ナシヒメシンクイのフェロモントラップにおける8月の第4世代成虫の誘殺数は平年に比べて多く（表1）、次世代にあたる第5世代成虫の発生量も多いものと見込まれる。
- (2) 有袋栽培の‘二十世紀’でシンクイムシ類による被害が多く認められ、今後、収穫期を迎える晩生品種（新高、新興、王秋など）においても被害の発生が懸念される。
- (3) 気象予報によると向こう1か月の気温は高いと予想されており、第5世代成虫の発生時期は9月中旬～10月頃と予想される。

6 防除上注意すべき事項

- (1) 果樹園内におけるシンクイムシ類の被害果は直ちに切除し、土中深く埋めるなど処分を徹底する。
- (2) 防除薬剤は病害虫防除指針を参考とし、使用基準を遵守するとともに、使用上の注意事項を守り、散布作業者等の安全の確保に努める。
- (3) 卵から孵化直後の幼虫期をねらって防除を行う。シンクイムシ類の発生は夏期以降、各世代が重なり明瞭な発生ピークが認められない連続した発生となる。多発時には9月中旬～10月上旬にかけて約10日間隔で2回防除を実施する。
- (4) 晩生品種では、9月中旬にアグロスリン水和剤2,000倍液などを散布し、9月下旬にはDDVP乳剤50の1,000倍液などを散布する。

表1 フェロモントラップにおけるナシヒメシンクイ雄成虫の誘殺数（頭）

月・旬	大栄町			湯梨浜町		
	本年	前年	平年*	本年	前年	平年**
8・上	76	36	11.6	34	38	13.4
・中	93	12	10.2	47	58	19.0
・下	9	6	17.5	83	58	27.7
9・上		41	37.2		49	19.3
・中		3	7.9		37	11.2
・下		0	0.4		0	1.0

注) 平年* : H12～16年、平年** : H7～16年